



第 7 回例会報告 (8月22日)

【出席報告】

・会員数	52名	・出席数	38名	・欠席数	14名
・当日出席率	75.51%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員> 青野(淳)、合田、平田、廣川、小堀、宮道、西本、岡本、重松、田崎、辰巳、吉武
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)
 <8/1欠席補填> (7/29 今治北) 原、冠、眞鍋、宮道、大澤、田中 (8/5 今治北) 桑森 (8/6 今治南) 平田、廣川、片山、楠橋、岡本、八木(伸)、吉田

◇**会長報告**・8月17日(土)、徳島にて行われた2670地区会員増強セミナーおよびクラブ研修リーダー育成セミナーに山本剛幹事、尾越優研修リーダーと共に参加してきました。

◇**幹事報告**・先日のセミナーでRCに関する考え方がガラッと変わりました。これからも精進します。
 ・例会終了後、3階研修室にて瀧山ガバナー補佐をお迎えし、第2回クラブ協議会を開催しました。
 ・8月29日(木)はガバナー公式訪問です。

◇**親睦活動委員会・誕生日スピーチ**・菅主浩会員(58歳)：仕事柄、行年で数えるクセがあり、昨年が58歳だと勘違いしていました。今年が58歳で間違いありません。ところで6月には3~5kg弱、痩せました。これからも続けたいと思います。

ガバナー補佐卓話

◆**愛媛第1分区 瀧山一甫ガバナー補佐**：数年前の地区大会で「4つのテスト」について講演がありました。入会時に額入りの書をいただいて「なるほど、これはいいことを書いているな」と思いましたが、それは字面を眺めただけで、一般人にも当てはまることだと思っていたのです。ところがその講演で語られたのは職業サービス(奉仕)に向けたもの、つまり職業人としてのロータリアンの心構え(ロータリー倫理訓)を一般の職業人にも理解できるよう簡潔にまとめたものだということ。取引の際に誇大広告や騙すようなことをしていないか、明白で公正な取引を行っているか、店の信用を高める商取引を行うことでより良い人間関係を築いて取引先を増やせるか、近江商人の三方良しに倣って全ての取引先が適正な利潤を得ることができるか、という問いかけなのです。▼せっかく今治に来ていますので今治城のお話をします。藤堂高虎による築城と言われていますが、実際の普請奉行は渡辺了(勘兵衛)。天守閣への道中にある大きな石にその名を残しています(勘兵衛石)。高虎はその頃、広島に居を構えていた福島正則の監視役を家康により命ぜられており、実際の築城にはタッチしていません。対照的に鼻栗瀬戸にあった村上水軍の拠点のひとつ、甘崎城は高虎により改築されています。▼慶長14(1609)年に高虎が伊勢の津城に加増転封されると今治2万石は飛び地になり、養子である高吉が収めていました。その高吉が寛永12(1635)年に伊賀の名張に移ると松平定房が転封されてきます。定房は松平(久松)定勝の五男。定勝の母は家康の生母於大の方であり、つまり定勝は家康の異父弟となるため松平性を与えられたということです。ちなみに定勝の二男定行が松山藩の久松松平家の祖であり、今治藩の久松松平家の宗家となります。▼松平定房は伊勢長島7千石から伊予今治3万石へ約4倍の加増でしたから家臣の数が足りません。そこで全国から浪人を召し抱えることとなります。私事で恐縮ですが、瀧山家もこのとき佐賀から今治藩へ移ってきました。こうして形成された家臣団には明治維新の際、石高に応じて退職金が支払われることとなりますが、赤字財政のために資金が底をつき、128名には堀の所有権と使用权を渡しました。「公共のものを個人に渡せない」とする今治市は第二次世界大戦終戦を機に昭和20(1945)年、土地と交換する形で返還してもらおうとします。ところが住所氏名がわかるのは101名。これでは登記ができません。それで現在も毎年5月第3土曜に101名の地権者が集まっています。これは全国でも珍しく、今治だけのようです。

<ゲスト> 愛媛第1分区ガバナー補佐 瀧山一甫様、随行者 高橋千昭様

次回例会 (8月29日)

【ガバナー公式訪問】

※例会終了後写真撮影を予定しています。

<会員誕生日祝> 合田 英之氏 (9/2) 楠橋 功氏 (9/2) 見乗 敏章氏 (9/4)

<入会記念日祝> 楠橋 功氏 (8/30) 片山 泰志氏 (8/30)

[笹]